

東北地方 1か月予報

(8月8日から9月7日までの天候見通し)

平成21年8月7日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、東北太平洋側を中心に日照時間が少ない見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

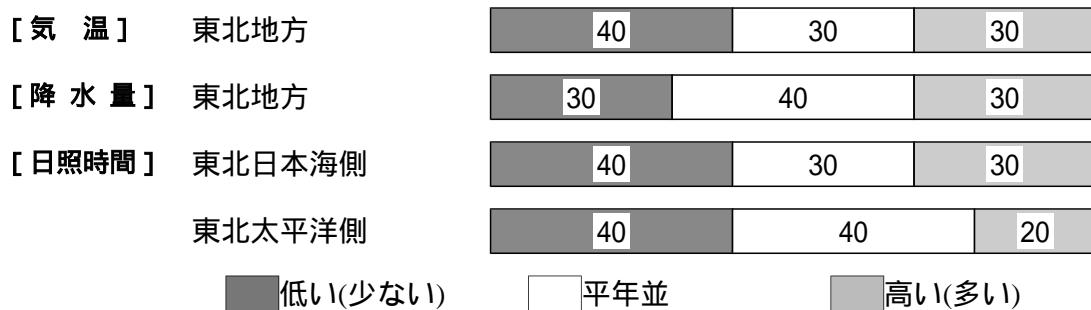
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

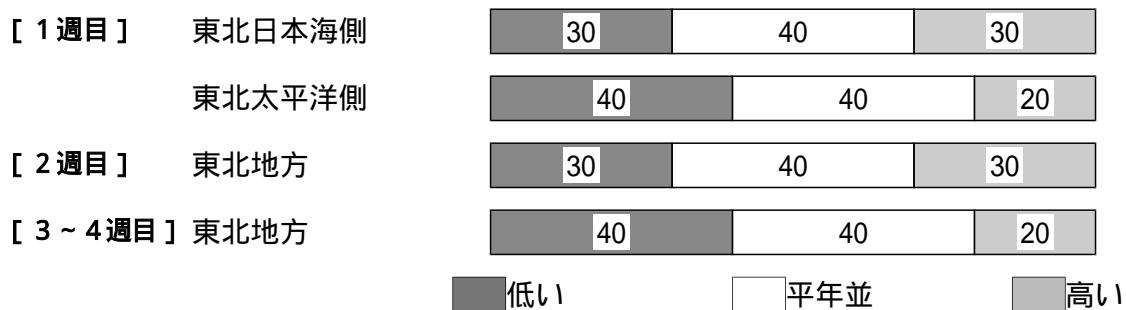
向こう1か月の日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は東北太平洋側で平年並または低い確率がともに40%、3~4週目は東北地方で平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月 8日(土) ~ 9月 7日(月)
1週目 : 8月 8日(土) ~ 8月 14日(金)
2週目 : 8月 15日(土) ~ 8月 21日(金)
3~4週目 : 8月 22日(土) ~ 9月 4日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月14日
3か月予報:8月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	22.4	131.6	183.2	23.5	23.0	21.9
深浦	22.5	167.0	179.1	23.5	23.2	22.1
むつ	21.1	150.6	145.9	22.0	21.6	20.7
八戸	21.8	152.7	163.5	22.7	22.3	21.3
秋田	23.8	186.0	194.0	24.9	24.7	23.3
盛岡	22.4	175.8	149.5	23.6	23.3	21.9
大船渡	22.5	209.1	149.4	23.3	23.0	22.1
宮古	21.7	187.4	154.3	22.5	22.3	21.4
仙台	23.6	179.8	145.7	24.4	24.1	23.2
石巻	23.0	132.0	167.5	23.7	23.6	22.7
山形	23.9	145.5	174.4	25.0	24.6	23.4
新庄	23.2	164.7	164.8	24.3	24.0	22.7
酒田	24.2	183.3	201.4	25.3	25.0	23.7
福島	24.6	142.8	148.4	25.5	25.2	24.2
若松	24.1	124.6	186.6	25.1	24.8	23.7
白河	22.7	227.1	146.1	23.6	23.3	22.4
小名浜	23.8	147.5	184.6	24.0	24.1	23.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.5	73 ~ 119	89 ~ 109
東北日本海側	-0.4 ~ +0.6	77 ~ 109	91 ~ 108
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.5	68 ~ 120	88 ~ 110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +1.0	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.8
東北日本海側	-0.8 ~ +0.9	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.7 ~ +1.1	-0.6 ~ +0.9	-0.4 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年8月7日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月8日~9月7日):

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

気圧の谷や寒気、オホーツク海高気圧の影響で、天気のぐずつく時期がある見込みです。

期間の前半は、東北太平洋側を中心に日照時間が少ない見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(8月8日~8月14日):

気圧の谷や湿った東風の影響で曇りで雨の降るところがありますが、期間の中頃には晴れるところがある見込みです。

平均気温は、東北日本海側で各階級の確率の偏りは小さく、東北太平洋側で平年並または低い確率がともに40%です。

2週目(8月15日~8月21日):

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気圧の谷の影響で、一時天気はぐずつく見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(8月22日~9月4日):

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気圧の谷や寒気の影響で天気のぐずつく時期がある見込みです。

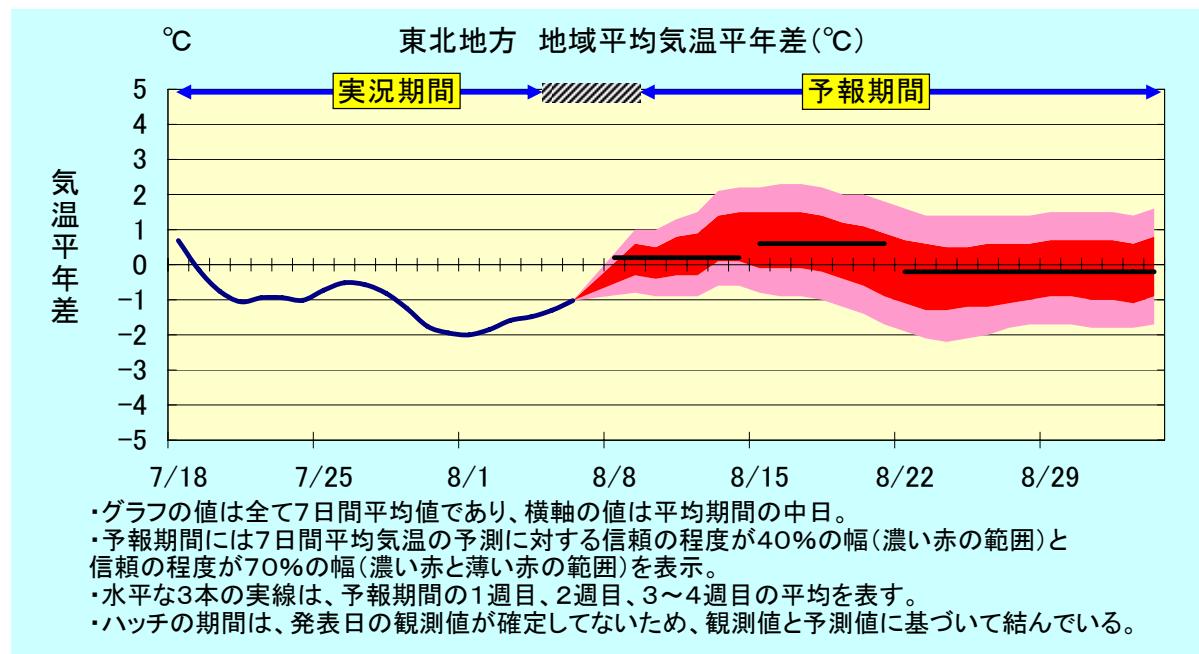
平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.3日	4.6日	4.0日	7.7日
東北太平洋側	14.0日	4.0日	3.4日	6.6日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年付近、2週目は平年をやや上回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。予報は、その他の資料から、低めに考える。

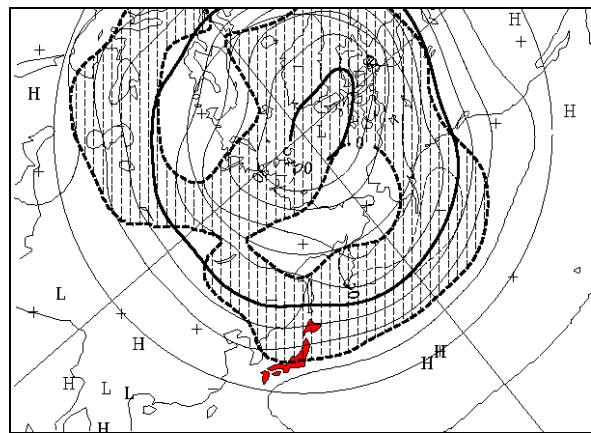


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は北日本以北が負偏差で、日本の南海上が正偏差。東北地方は気圧の谷や寒気の影響を受けやすい。

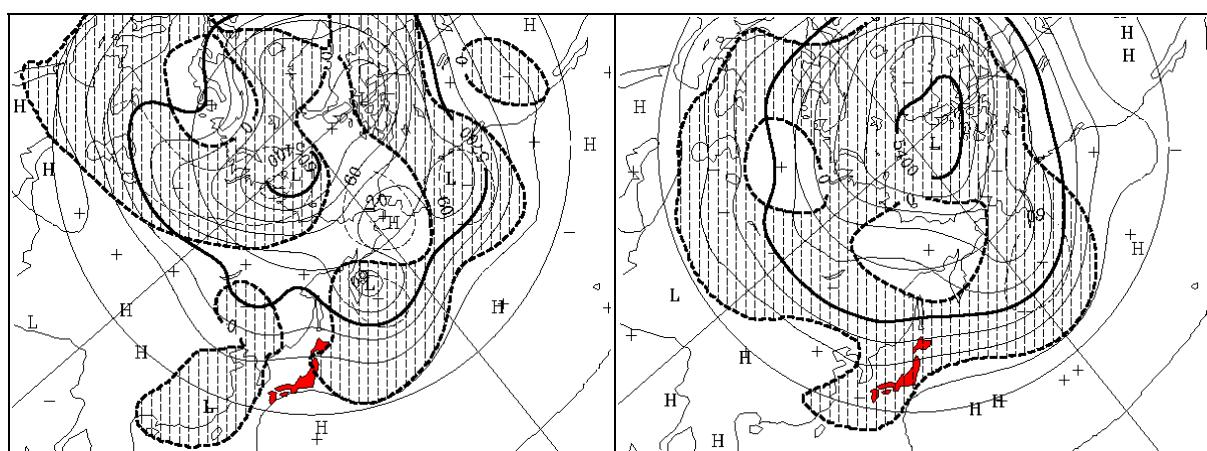
1週目：アリューシャンから日本の東海上は負偏差、また、日本海から日本の南海上にかけて正偏差で、日本付近はやや東谷傾向。東北地方は、気圧の谷の影響で天気はぐずつく見込み。また、オホーツク海付近が正偏差で、東北太平洋側では、一時冷たく湿った東風の影響を受ける見込み。

2週目：日本付近は南東海上を除いて負偏差で、西谷傾向。気圧の谷の影響を受けやすく、一時天気はぐずつく見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

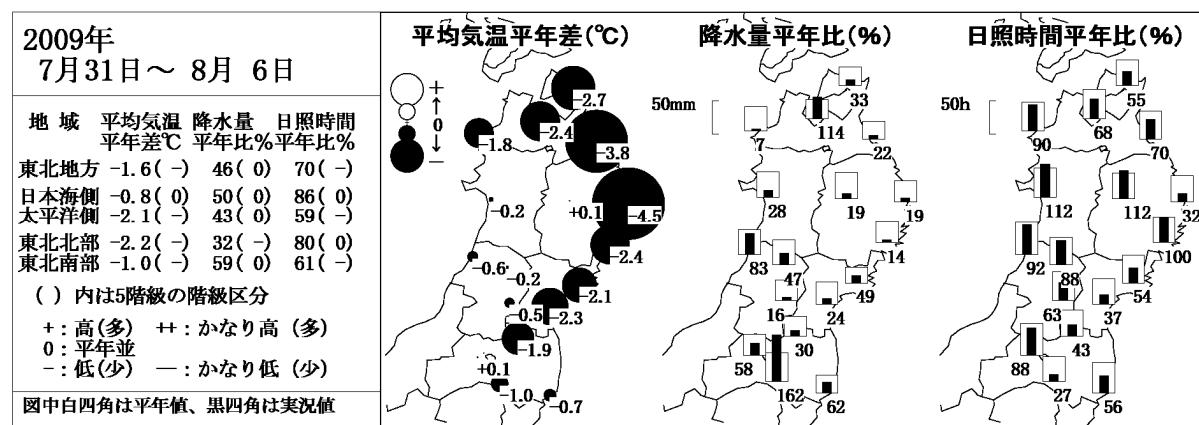
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月31日～8月6日) の天候の経過

この期間、気圧の谷の影響で、曇りの日が多く、雨の降るところもあった。また、東北太平洋側では、冷たく湿った東風の影響で気温が低く、日照時間が少なかった。一方、東北日本海側では晴れる日もあった。5日は、暖かく湿った南風が入り込んだことと寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、岩手県、福島県で局的に非常に激しい雨となったところがあり、浸水害などの被害が発生した。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）